

住友化学と持続可能な発展 Sumitomo Chemical and Sustainable Development

S2-1

河内 哲

Satoshi Kawachi, Executive Vice President, Sumitomo Chemical Co.,Ltd.

〒104-8260 東京都中央区新川 2-27-1 住友化学株式会社

Tel:03-5543-5102, Fax:03-5543-5901

In order to effectively use the Earth's limited resources and protect the global environment, we must move away from a society based on mass-production, mass-consumption, and large-scale disposal of products toward a more environmentally friendly system based on recycling. Sumitomo Chemical has contributed to resolving such problems faced by society and improving living standards by creating new products and technologies. We firmly believe that the chemical industry will continue to play an increasingly important role and offer a variety of opportunities to society in the future.

住友化学の方針

住友化学はグリーン・サステイナブル・ケミストリ（GSC）を通じたCSR（企業の社会的責任）を推進し、持続可能な未来を拓いていくことを目指している。化学技術の革新を通じて、人々の生活にとってより有用なものを、環境や社会により望ましい形で提供する、具体的には、省エネルギー・省資源の追及のほか、健康や環境に有害な化学物質を使わずに、かつ発生させない科学技術などの開発を目指している。企業活動のあらゆる場面で「レスポンシブル・ケア（環境・安全・健康・品質）」、「社会」「経済」に配慮しつつ、GSCを実践すること、GSCから生まれた製品・サービスによって社会に貢献することを通じてCSRを推進し、持続可能な社会の構築に寄与していく。

研究開発および生産活動において、持続的な発展および環境保全は基本的な方針である。生産では、レスポンシブル・ケア活動を推進し、製品と生産のライフサイクルを通じた環境負荷の低減・安全性の向上のために、環境・安全に関する技術の向上に努めている。研究開発では、持続可能な発展のために「有限な資源を有効に使うこと」「排出物を無くして良好な環境を維持すること」を基本的なコンセプトとし、革新的な技術や製品を開発・提供し続けることによって、社会や地球環境が抱える問題の解決に貢献していく。

研究開発事例

当社が実施してきた研究開発事例をいくつか紹介するとともに、技術や製品を通じた社会貢献の実例についても紹介する。

1) プロセス革新

「有限な資源を有効に使う」

・プロピレンオキサイド製法

「排出物を無くして良好な環境を維持する」

・カプロラクタム製法

・塩酸酸化技術

2) 高機能材料の開発

「エネルギー効率向上」

・高分子LED

「環境にやさしく社会貢献」

・オリセットネット（マラリヤ蚊防除蚊帳）

化学産業の役割

社会の持続的な発展のためには、一企業や化学産業だけでの取組みでは解決できない課題も多い。これまでも、化学産業が革新的な材料を他産業に提供することで、最終製品のライフサイクルにわたるエネルギーおよび資源使用量を改良してきたが、その成果が社会全体の持続的な発展にさらに貢献できるような社会システムとすべく、産官学が連携し、効果的な施策を行っていく必要がある。そのために我々の英知を結集していかなければならない。